



オープニングセレモニーのテープカット



史実の展示コーナー

いだてんの世界を表現したロケ地のジオラマ

金栗四三ゆかりの地である熊本県玉名市に

## 「いだてん 大河ドラマ館」がオープン



臨場感あふれる体感シアター

大河ドラマ「いだてん～東京オリンピック<sup>ほなし</sup>～」の放送スタートを受け、1月12日(土)ドラマの前半の主人公、金栗四三<sup>かなくりしそ</sup>ゆかりの地である熊本県玉名市に「いだてん 大河ドラマ館」がオープンしました。

オープニングセレモニーでは、<sup>くらほらたかひろ</sup>藏原隆浩市長が「ドラマを見た全国の人に金栗四三さんのゆかりの地を訪れてもらい、玉名市の地域振興に繋げていきたい」と挨拶し、玉名市のご当地キャラの「たまにゃん」と「くまモン」が金栗四三ゆかりのシャツを着て登場。さらにドラマの後半の主人公・<sup>たばたまさし</sup>田畑政治のゆかりの地・浜松から「出世大名康くん」も応援にかけつけ、会場では、地元である県立北稜高校の和太鼓演奏がセレモニーをさらに盛り上げてくれました。

館内は「ドラマゾーン」と「史実ゾーン」の二つのゾーンに分かれています。ドラマゾーンでは「いだてん」の世界観を分かりやすく説明、史実ゾーンでは金栗四三の生涯を丁寧に解説しています。また「ドラマシアター」と「体感シアター」の2つのシアターがあるのもこのドラマ館の特徴です。ドラマシアターでは4Kモニターで熊本ロケのメイキングを中心にした映像を上映、体感シアターは360°ぐらりとスクリーンに囲まれた空間で、ドローン映像をはじめ、VR要素をふんだんに取り入れ金栗四三の功績を体感できる内容で大人も子どもも楽しめる作りになっています。

「いだてん 大河ドラマ館」は来年の1月13日(月・祝)まで無休で開催しています。みなさんのお越しをお待ちしています。

### ◆「いだてん 大河ドラマ館」

- 【開催期間】 2019年1月12日(土)～2020年1月13日(月・祝)
- 【開催場所】 熊本県玉名市繁根木163
- 【開館時間】 午前9:00～午後5:00 (最終入館 午後4:30)
- 【入場料金】 大人(高校生以上) 600円 前売/480円  
小人(小・中学生) 300円 前売/240円  
※団体(20名以上) 割引あり
- 【問い合わせ】 チケット販売管理センター  
TEL. 0570-06-5588 (月～金 午前9:00～午後5:00)
- 【HP】 <http://www.kanakurishisou-taiga.com/>



左から、たまにゃん・くまモン・出世大名康くんも応援



◆映像発掘バラエティー  
「たけしのその時  
カメラは回っていた」  
【放送予定】2月16日(土)・23日(土)  
NHK総合 午後8:15～

## 映像発掘バラエティー 「たけしのその時 カメラは回っていた」

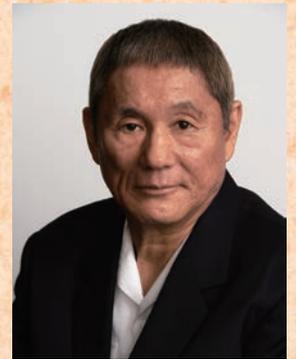
「映像の世紀」と呼ばれるこの100年でカメラが記録した数々の真実。その歴史の裏側にビートたけしさんが挑む新番組が、NHK総合テレビ土曜のゴールデンタイムに放送されます。

「日本での新婚旅行中に突然姿を消した女優マリリン・モンロー。大リーガーの夫と喧嘩してまで向かった危険な場所とは!？」

「ハリウッドでの歓迎会で突然マジギレしたソビエト最高指導者ニキータ・フルシチョフ。独裁者がどうしても行きたかったある場所とは!？」

月面着陸の訓練で起きた爆発事故からの緊急脱出など、世界各国のアーカイブスから集めた「そんな時にカメラが回っていたの?」という貴重な映像をクイズにして、歴史の知られざる真実を解き明かします。番組の顔を務めていただくビートたけしさんは、映画監督として映像に造詣が深いだけでなく歴史についても非常に博学です。「世界のキタノ」がゲストと共に毒舌トークを繰り広げながら、難解なイメージの現代史を楽しく噛み砕いていきます。

笑いながらちょっと頭もかしこくなる知的エンターテインメント番組です。



番組MC ビートたけしさん

## ～京都大原の庭とキッチンから～ ベニシアさんの手づくり暮らし展 ベニシアさんの展覧会の 全国巡回がスタート

放送開始から満10年を迎えた「猫のしっぽ カエルの手～京都 大原 ベニシアの手づくり暮らし～」。京都大原の築100年の古民家で、自ら育てたハーブを生活に取り入れるベニシアさんの暮らしぶりは、平凡な日々の中にもささやかに豊かな幸せがあることを教えてくれます。

そしてこのほど、このベニシアさんの展覧会の全国巡回がスタートします。初会場は、2月末からの松屋銀座。本展では、ご自宅の庭やキッチンの再現、愛用品の数々、交流のあった人々との出会いなどをご紹介します。ベニシアさんの現在の暮らしのルーツには、イギリスで貴族として過ごした少女時代に育まれた美意識と、一方で小さな家で家族が仲良く暮らすつましやかな生活への憧れがありました。

会場では、ベニシアさんが描くハーブや草花をデザインしたオリジナルグッズやベニシアさんのレシピをヒントにしたオリジナルフードも販売します。本展で、ベニシアさんの世界の魅力に是非ふれてみてください。



### ◆～京都大原の庭とキッチンから～ ベニシアさんの手づくり暮らし展

【開催期間】2019年2月28日(木)～3月11日(月)

【開催場所】松屋銀座8階イベントスクエア

【入場料金】一般1,000円、高校生700円、中学生500円、小学生300円

【主催】NHKエンタープライズ 【企画制作】オーク 【企画協力】テレコムスタッフ

【協力】世界文化社/KADOKAWA 【写真】梶山正

